

今後の課題と食品分析の見通し（案）

区 分	H28	H29	H30	H31	H32
○新しい食物繊維の分析法(AOAC2011.25)の妥当性検証と食物繊維の再分析	新しい食物繊維の分析法の妥当性検証	新しい分析法による食物繊維の再分析	→		
○新規食品や調理後食品(「焼き」、「ゆで」等)の追加と成分分析	新規食品、調理後食品の成分分析	→			
○炭水化物の組成(有機酸組成を含む)、アミノ酸組成及び脂肪酸組成の収載値の増	3組成の成分分析	→			
○次期改訂に向けた質の高い食品成分データの蓄積					
・既収載食品の再分析					
⇒成分値に疑義のある食品	疑義食品の再分析	→			
⇒来歴不明の基礎データのない食品	基礎データのない食品の再分析	→			
⇒四訂等の古いデータを収載値としている食品	古いデータの食品の再分析	→			
⇒減塩化等の食品成分の変化が見られる食品		減塩化等の食品の再分	→		
⇒新たに妥当性確認された分析法により脂肪酸あるいはヨウ素の再分析が必要な食品	妥当性確認された分析法による脂肪酸等の再	→			
⇒グリコーゲンを多く含む食品であって、酵素法によるグリコーゲン(でん粉)の定量をしていない食品	グリコーゲンを多く含む食品の再分析	→			
⇒酢酸及び他の有機酸を多く含む食品であって、HPLC法による酢酸の定量を行っていない食品	酢酸等有機酸を多く含む食品の再分析	→			
・既収載食品の追加分析					
⇒微量5成分(ヨウ素、セレン、クロム、モリブデン、ビオチン)が未測定の商品	微量5成分の追加分析	→			
⇒推計値を収載しているが、分析値が必要な食品	推計値の食品の追加分析	→			
・要検討食品					
⇒利用度の高い栄養補給食品	検討結果に基づき、優先度等を考慮して分析	→			
⇒伝統食品及び少数民族食品	検討結果に基づき、優先度等を考慮して分析	→			